

Q-1205 コンクリート舗装施工時に、早期交通開放ができる方法を教えてほしい？

一般に、コンクリート舗装では所定の強度が得られるまで養生が必要となり、交通開放までにある程度の期間が必要となる。

普通コンクリート舗装の交通開放までの養生期間の目安は、早強ポルトランドセメントを使用する場合で1週間、普通ポルトランドセメントを使用する場合で2週間、高炉セメントを使用する場合で3週間が標準となっている。また、最近の技術開発により、交通開放までの養生期間を1日に短縮できる早期交通開放型コンクリート舗装(1DAY PAVE)も NETIS 登録されている。さらに交通開放までの養生期間を時間単位まで短くする方法として、超早強セメント又は超速硬セメントを用いたコンクリート舗装も実用化されているが、材料コストが高くなるので、特殊な箇所への適用に限定される場合が多い。

養生期間を短縮する工法としては、転圧コンクリート舗装(RCCP)とすることで、交通開放までの養生期間を3~7日間に短縮することができる。またスリップフォーム工法とすることで、型枠の設置及び撤去作業に係わる工事期間を短縮することができる。さらに工事期間を短くする工法として、プレキャストコンクリート版を用いたコンクリート舗装も行われているが、コストが高くなるので、特殊な箇所への適用に限定される場合が多い。